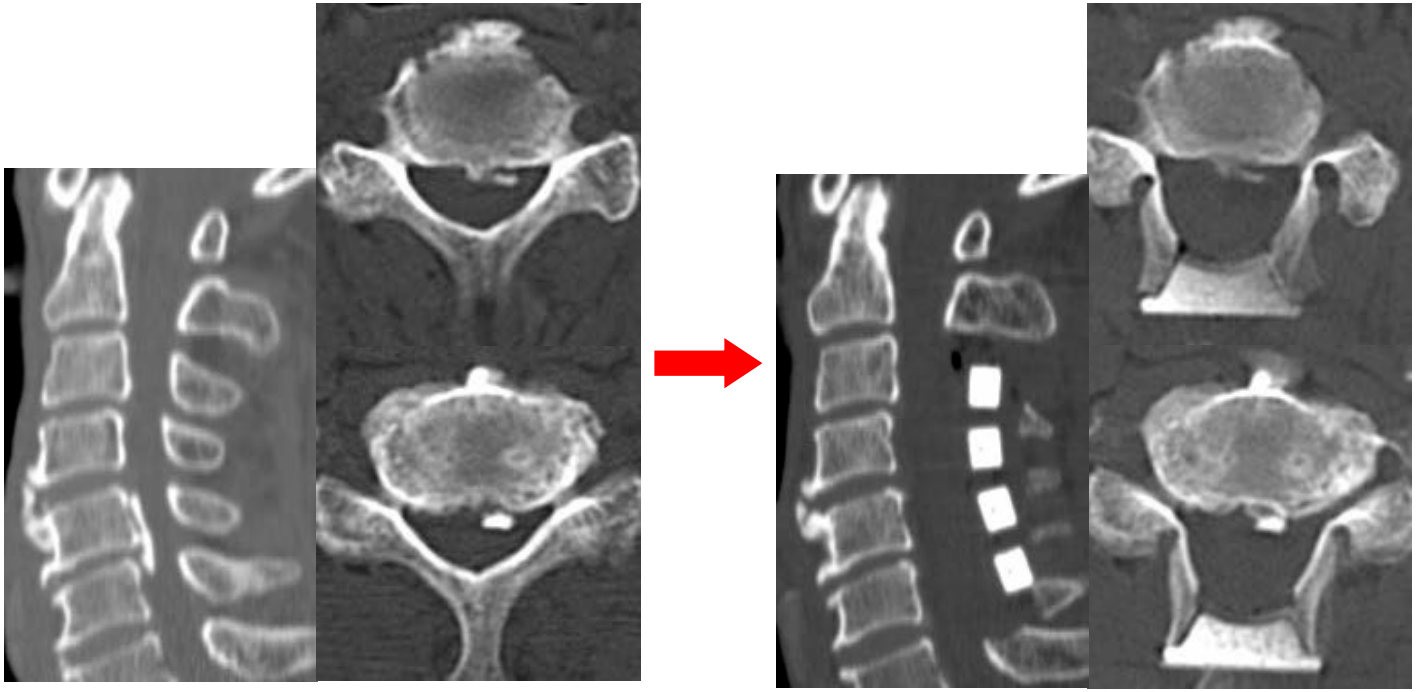
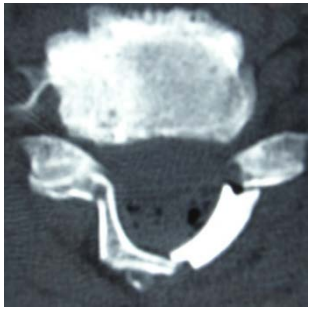
頸椎症性脊髄症に対する椎弓形成術

・頸椎手術で最も頻度の高い術式です。
・椎弓の両開き式、片開き式の椎弓形成術を症例に合わせて選択します。
・通常、約5cmの皮膚切開で、第3-第6頸椎の椎弓を人工骨で拡大形成します。
・筋肉の剥離を最小限に行うことで術後の頸部痛・凝りを最小限に抑えています。
・通常、手術時間：1.5-2.0時間。術後7-10日で退院可能です。

両開き式



片開き式